

平成24年度 友愛活動事業助成
事業実施報告書

市町村老連名 赤磐市老人クラブ連合会

事業名	目くばり気くばり活動
実施主体	(市町村老連、支部、地域、地区老連、単位クラブ及び地域高齢者組織等) 赤磐市老人クラブ連合会 山陽支部
実施区域	(事業実施した団体の範囲) 山陽地域
対象者	(実施区域内に居住する事業対象となる高齢者の状況、人数) 老人クラブ会員で、A. 在宅一人暮らし、B. 在宅 寝たきり、C. 90歳以上の方 354名 年間累計 610名
目的	老人クラブ会員で、一人暮らしの方、介護が必要な方、 90歳以上の方を見守り、地域とのつながりを保てるよう にする。
事業内容	(事業内容ごとに、簡潔にまとめて記入) ☐ 目くばり気くばり活動 通年して、各単位老人クラブで友愛訪問や 声かけ運動を行っている。 山陽支部としては、毎年、山陽支部生きがい 作品展と同日に目くばり気くばり活動を実施。 事前に女性部で、品物の選定と対象者の集計をし、 地区ごとにまとめて配布をする。 単位老人クラブ会長や女性部を中心として、 対象者に、支部からの粗品と簡単な手紙を添えて 訪問していただき、対象者の現況把握と近隣社会 とのつながりを保てるよう努めている。

事業の成果	各単位老人クラブでは、会員の減少に伴う予算の縮小や人材の不足により、友愛訪問を定期的にできていないところや多くはできないところもあり、年に1度でも支部が行うことで、地域社会とのつながりをつくることにもなっている。 また、普段から行っている地区に関しても、毎年恒例の行事を楽しみにされている方もいる。
課題・問題点	単位老人クラブ会長や役員、女性部の方も高齢で、地区内にいる対象者の有無や現況を把握をすること自体が難しく、申込みがない地区もある。また、山陽支部が行う目くばり気くばり活動のみで、普段から定期的に訪問ができていない地区もある。 友愛訪問において、品物を届けるというのは、ひとつの手段であり、本来の目的である対象者の見守り、安否確認や孤独感の解消を図れるよう支部としても進めていかなければならない。
今後の取組	今後も、山陽支部として目くばり気くばり活動を継続していくとともに、各地区での定期的な友愛訪問活動の周知、促進を進めていく。 行政、社協等の他機関とも連携し、対象者、地域の情報を共有し、いつでもお互いに協力できる体制をつくっておくことが必要。 また、みなさんが参加したくなるような魅力ある事業を展開し、日頃から会員同士交流できる場を提供していく。